

1.3. 展開の手引き ～車両指定箇所検査場～

展開目安時間：約120分／5人作業
(テント組立～運用開始)

要員装備

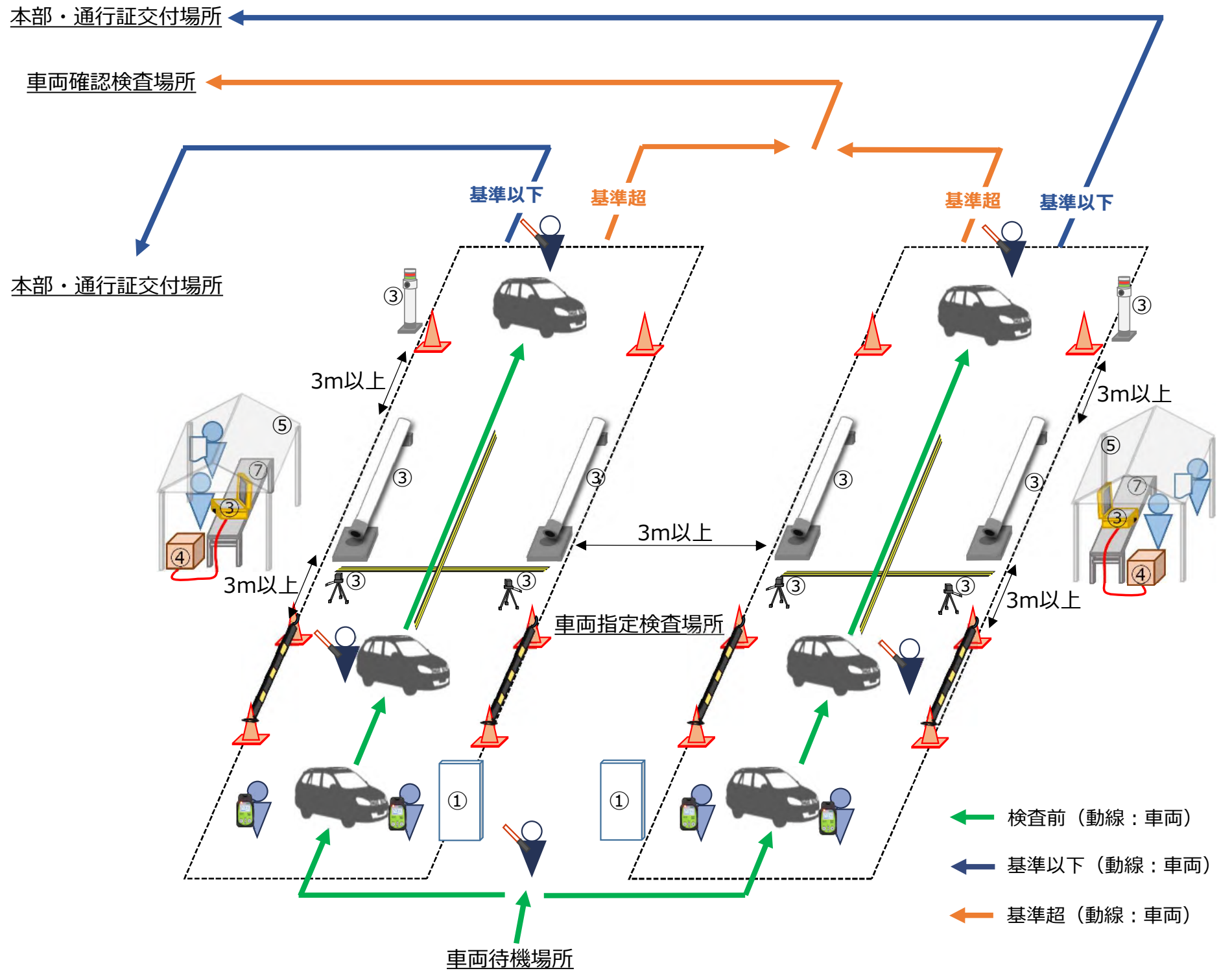
要員	物品
車両誘導係	LED誘導棒 LEDベスト
検査係	表面汚染検査用測定器 ビブス サージマスク ゴム手袋 綿手袋
操作係	ビブス
記録係	ビブス 筆記用具・検査結果記入用紙

- Point**
- 電子式個人線量計は、同一グループの最も被ばくしやすい者が着用。
 - 車両、住民の簡易除染、汚染物質の取り扱いの役割を担う者は、使い捨てがわ、ズボン、帽子等を着用してもよい。

設営資機材

①誘導案内板	⑤テント：組立タイプ (約1.8×2.7m)	⑨照明
②案内板の固定用重り	⑥重り	⑩LED投光器
③車両用ゲートモタ	⑦机	⑪経路誘導コーン
④発電機	⑧椅子	⑫コーンウェイト ⑬コーンバー

レイアウト例



- Point**
- 基準以下と基準超で導線が交差ししないレイアウトにし、汚染が拡大する可能性を防ぐ。
 - 2レーンの場合は、それぞれのゲートモタ同士に3m以上の距離を空けて設営する。
 - それぞれのゲートモタには、車両の通過位置の目安となる中心線を設ける。
 - ゲートモタの手前側と奥側には、車両の停車位置（検出器から距離3m以上）の目安に経路誘導コーン等を設ける。
 - テントを配置する際には、現地の状況に応じて設置する位置に注意する。
 - テントの脚には重りを設置し、風で飛ばないように対策をする。
 - 必要に応じて、車両の経路を経路誘導コーン等を用いて区分けする。
 - 必要に応じて、照明等を設置する。

1.3. 展開の手引き ～車両指定箇所検査場所～

展開目安時間：約120分/5人作業
(テント組立～運用開始)

配置イメージ



ワハ°-部検査場所

ワハ°-部検査場所 (1レーン)



ゲートモタ手前

ゲートモタ手前 (1レーン)



ゲートモタ通過時 (1レーン)